

2014年度 予算の概要

I. 資金収支予算

1. 収入の部

収入総額は、699億4千万円であり、前年度と比較して1億6千万円（0.2%）の増加となりました。『学生生徒等納付金収入』が学費改定に伴い減少する一方、『補助金収入』の経常費補助金収入、『資産売却収入』の短期有価証券売却収入、『事業収入』の受託事業収入の増加を見込みました。

（単位：千円）

科 目	予 算 額	前年度比増減額	増減率%
学生生徒等納付金収入	37,120,027	△ 962,254	△ 2.5
手数料収入	3,412,394	△ 58,426	△ 1.7
寄付金収入	315,430	△ 47,120	△ 13.0
補助金収入	5,450,688	688,104	14.4
資産運用収入	893,537	21,096	2.4
資産売却収入	2,000,000	300,000	17.6
事業収入	2,214,460	997,690	82.0
雑収入	1,496,026	△ 159,846	△ 9.7
前受金収入	6,590,162	△ 972,066	△ 12.9
その他の収入	2,562,432	516,572	25.2
資金収入調整勘定	△ 8,377,459	56,836	△ 0.7
前年度繰越支払資金	16,257,856	△ 215,716	△ 1.3
収入の部合計	69,935,553	164,870	0.2

主な款別内訳は、次の通りです。

- (1) 『学生生徒等納付金収入』は、371億2千万円を計上。前年度と比較して9億6千万円（2.5%）の減少（予算基礎学生数は33,437人、前年度比454人減）です。
- (2) 『手数料収入』は、34億1千万円を計上。このうち主な内容は、「入学検定料収入」の33億7千万円、入学志願者数は、115,760人（学部、大学院、高等学校・中学校の各入学試験の合計、前年度比7,411人減）を見込みました。
- (3) 『寄付金収入』は、3億2千万円を計上。主な内容は、未来サポーター募金を1億5千万円、教育振興協力資金を3千万円計上しました。
- (4) 『補助金収入』は、54億5千万円を計上。
 - ① 「国庫補助金収入」は、50億4千万円を計上。このうち「経常費補助金収入」については、46億2千万円を計上。「研究設備補助金収入」は1億5千万円、「研究装置等補助金収入」は1億3千万円、「その他の国庫補助金収入」は国際化拠点整備事業に1億4千万円を計上しました。
 - ② 「地方公共団体補助金収入」は、4億1千万円を計上。これは、主に高等学校・中学校に対する「東京都補助金収入」です。

- (5)『資産運用収入』は、8億9千万円を計上。主に「受取利息・配当金収入」及び「施設設備利用料収入」です。
- (6)『資産売却収入』は、20億円を計上。これは、前年度末に保有する短期運用債券の売却収入です。
- (7)『事業収入』は、22億1千万円を計上。内容は高等学校・中学校のスクールバス利用料等の「補助活動収入」、農場等からの「附属事業収入」、「受託事業収入」及び「リバティアカデミー受講料収入」です。
- (8)『雑収入』は、15億円を計上。このうち「私立大学退職金財団交付金収入」が7億7千万円、教職員が拠出する「年金掛金収入」が4億6千万円及び「その他の雑収入」が2億7千万円です。
- (9)『前受金収入』は、65億9千万円を計上。主に年度内に受け入れる2015年度新入生の学生生徒等納付金の見込額です。
- (10)『その他の収入』は、25億6千万円を計上。内容は貸費奨学金等の「貸付金回収収入」7億1千万円、「退職給与引当資産からの繰入収入」2億3千万円、その他「前期末未収入金収入」等です。
- (11)『資金収入調整勘定』は、83億8千万円を計上。これは、前記の各収入予算額のうち当期に資金の受入が行われない「期末未収入金」（資金の受け入れが次年度になるもの。主なものは、2015年3月の定年退職者等に関わる私立大学退職金財団からの交付金です。）及び「前期末前受金」（前年度に資金の受け入れが済んでいるもの。主なものは、2014年度新入生の学生生徒等納付金です。）を収入予算額から控除するものです。
- (12)『前年度繰越支払資金』は、162億6千万円を計上。前年度末の現預金有高の見込額です。

2. 支出の部

支出総額は、収入総額と同額699億4千万円です。

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度比増減額	増減率%
人 件 費 支 出	30,106,866	△ 453,389	△ 1.5
教育研究経費支出	14,041,607	173,497	1.3
管 理 経 費 支 出	1,827,302	△ 268,909	△ 12.8
施 設 関 係 支 出	4,221,527	△ 1,592,416	△ 27.4
設 備 関 係 支 出	2,740,638	92,643	3.5
資 産 運 用 支 出	2,736,496	280,129	11.4
そ の 他 の 支 出	6,766,879	353,900	5.5
予 備 費 (資 金)	500,000	0	0.0
資金支出調整勘定	△ 6,761,382	△ 599,417	9.7
次年度繰越支払資金	13,755,620	2,178,832	18.8
支 出 の 部 合 計	69,935,553	164,870	0.2

主な款別内訳は、次の通りです。

(1)『人件費支出』内訳

①「教員人件費支出」 180億5千万円 (前年度比 5千万円減)

②「職員人件費支出」	90億7千万円	(前年度比	2億1千万円減)
③「役員報酬支出」	1億2千万円	(前年度並)
④「退職金支出」	11億5千万円	(前年度比	2億1千万円減)
⑤「年金給付金支出」	17億2千万円	(前年度比	2千万円増)

人件費支出総額では、301億1千万円、前年度比4億5千万円の減少です。

(2)『教育研究経費支出』は、140億4千万円を計上。前年度と比較して1億7千万円(1.3%)の増加です。

(3)『管理経費支出』は、18億3千万円を計上。前年度と比較して2億7千万円(12.8%)の減少です。

『教育研究経費支出』・『管理経費支出』については、「明治大学グランドデザイン2020」を基礎に置き、本学の教育研究力の質的飛躍を積極的に促進することにより、次代を拓き新たな価値を世界に向けて発信する大学の実現を目指すため、具体的な教育、研究、社会連携、国際連携、学生生活支援等の経費が盛り込まれています。

(4)『施設関係支出』は、42億2千万円を計上。主な内訳は、次の通りです。

①「土地支出」は、15億3千万円を計上。

- ・中野開発協力金
- ・駿河台隣接不動産取得

②「建物支出」は、24億4千万円を計上。

- ・生田第一校舎6号館建設工事
- ・駿河台隣接不動産取得・改修工事
- ・グローバルフロント竣工に伴う各所改修工事
- ・和泉隣接不動産改修工事
- ・リバティタワー蓄熱槽漏水改修工事 他

③「建設仮勘定支出」は、2億5千万円を計上。

- ・生田中央校舎空調設備更新工事 他

(5)『設備関係支出』は、27億4千万円を計上。内訳は、次の通りです。

①「教育研究用機器備品支出」, 「その他の機器備品支出」	23億2千万円
②「図書支出」	4億円
③「ソフトウェア支出」	2千万円

(6)『資産運用支出』は、27億4千万円を計上。内訳は、次の通りです。

①「有価証券購入支出」(短期運用債券の購入費)	20億円
②「年金引当資産への繰入支出」	5億7千万円
③「第3号基本金引当資産支出」(創立者記念奨学基金等の積立)	1千万円
④「その他の引当資産への繰入支出」 (未来サポーター募金等の指定寄付金・積立金果実の積立)	1億6千万円

(7)『その他の支出』は、67億7千万円を計上。主な内訳は、次の通りです。

①「貸付金支払支出」(主に貸費奨学金)	6億6千万円
②「前期末未払金支払支出」	59億6千万円
③「前払金支払支出」	1億5千万円

(8)『予備費(資金)』は、5億円を計上。

(9)『資金支出調整勘定』は、67億6千万円を計上。前記の各支出予算額のうち当期に資

金の支払いが行われない「期末未払金」（資金支払いが次年度になるもの。2015年3月末定年退職者等に支払われる退職金他）及び「前期末前払金」（前年度に資金支払いが済んでいるもの。海外図書の前払金他。）を支出予算額から控除するものです。

- (10) 『次年度繰越支払資金』の137億6千万円は、当年度末の現預金有高の見込額です。『前年度繰越支払資金』より21億8千万円増加しました。

II. 消費収支予算

1. 消費収入の部

消費収入の部合計は、帰属収入合計から『基本金組入額合計』を控除した444億4千万円であり、前年度と比較して15億8千万円（3.7%）の増加となりました。

(単位：千円)

科 目	予 算 額	構成率%	前年度比増減額	増減率%
学生生徒等納付金	37,120,027	72.8	△ 962,254	△ 2.5
手数料	3,412,394	6.7	△ 58,426	△ 1.7
寄付金	397,430	0.8	△ 52,120	△ 11.6
補助金	5,450,688	10.7	688,104	14.4
資産運用収入	893,537	1.8	21,096	2.4
資産売却差額	0	0.0	△ 187,132	—
事業収入	2,214,460	4.3	997,690	82.0
雑収入	1,496,026	2.9	△ 159,846	△ 9.7
帰属収入合計	50,984,562	100.0	287,112	0.6
基本金組入額合計(△)	△ 6,547,642	12.8	1,295,897	△ 16.5
消費収入の部合計	44,436,920	87.2	1,583,009	3.7

(1) 帰属収入合計は、509億8千万円であり、前年度と比較して2億9千万円（0.6%）の増加です。各科目の内容及び金額は、『寄付金』『資産売却差額』を除いて資金収入予算と同じです。消費収入の『寄付金』は、資金収入予算額に消費収入固有の科目「現物寄付金」8千万円を加えて計上されています。

(2) 『基本金組入額合計』は、65億5千万円を計上。第1号から第4号の基本金の主な内訳は、次の通りです。

① 第1号基本金（当期取得資産）は、64億9千万円を計上。

- ・土地
- ・建物
- ・構築物
- ・建設仮勘定
- ・教育研究用機器備品
- ・その他の機器備品
- ・図書
- ・ソフトウェア

② 第2号基本金（計画組入資産）の組入は無し。

③ 第3号基本金（奨学基金等）は、創立者記念奨学基金へ1千万円を計上。

④ 第4号基本金（恒常的支払資金）は、5千万円を計上。

2. 消費支出の部

消費支出の部合計は、533億1千万円であり、前年度と比較して3億1千万円（0.6%）の減少となりました。

（単位：千円）

科 目	予 算 額	構成率%	前年度比増減額	増減率%
人 件 費	30,216,211	56.7	△ 253,130	△ 0.8
教 育 研 究 経 費	20,170,042	37.8	283,810	1.4
管 理 経 費	2,283,018	4.3	△ 262,377	△ 10.3
資 産 処 分 差 額	83,625	0.2	△ 78,490	△ 48.4
徴収不能引当金繰入額	55,041	0.1	△ 4,340	△ 7.3
予 備 費（消 費）	500,000	0.9	0	0.0
消 費 支 出 の 部 合 計	53,307,937	100.0	△ 314,527	△ 0.6

主な款別内訳は、次の通りです。

(1) 『人件費』は、302億2千万円を計上。

① 「教員人件費」・「職員人件費」・「役員報酬」は、資金支出予算と同じです。

② 「退職金」は、2千万円を計上。これは、選択定年制度によって退職する者の退職給与額に、本学が定める附加率を乗じて得た附加金の見込額です。

③ 「退職給与引当金繰入額」は、6億7千万円を計上。これは、2014年度末における退職給与引当金の必要額を補填するものです。

④ 「年金引当金繰入額」は、22億9千万円を計上。

(2) 『教育研究経費』は、201億7千万円を計上。これは、資金支出予算額に消費支出固有の科目「減価償却額」61億3千万円を加えた額です。

(3) 『管理経費』は、22億8千万円を計上。これは、資金支出予算額に消費支出固有の科目「減価償却額」4億6千万円を加えた額です。いずれの「減価償却額」も、「建物」・「機器備品」等の固定資産の当期償却額を計上するものです。

(4) 『資産処分差額』は、8千万円を計上。

(5) 『徴収不能引当金繰入額』は、6千万円を計上。これは、「徴収不能額」の他、除籍者に係る未収授業料を「徴収不能引当金繰入額」に計上したものです。

(6) 『予備費（消費）』は、資金支出と同額の計上です。

帰属収支差額は、『帰属収入の部合計』が509億8千万円、『消費支出の部合計』が533億1千万円の結果、消費支出が帰属収入を上回った収支差額、23億2千万円が帰属支出超過となりました。

また、消費収支差額は、消費支出が消費収入を上回った収支差額、88億7千万円が消費支出超過となりました。

Ⅲ. 年金会計予算（一般会計から抜粋）

年金会計は、特別会計として一般会計とは独立していましたが、2000年度予算から一般会計に統合して取り扱うことになりました。ただし、参考として年金会計については、一般会計から抜粋して、従来の特別会計様式での表示をしています。

収入・支出総額は、22億9千万円。前年度と比較して3千万円（1.4%）の増加です。『年金給付金』の給付額が『一般会計から受入』『掛金収入』『資産運用収入』の合計額を下回るため、結果として『年金引当資産』へ5億7千万円積立てることになりました。そのため2014年度末の『年金引当資産』は、約137億3千万円になる見込みです。

1. 収入の部

- (1) 『一般会計から受入』は、16億3千万円を計上。内容は、「法人負担金受入」の6億9千万円、「法人資金受入」特別積立分として4億8千万円、「法人資金受入」不足責任準備金償却分として4億6千万円です。
- (2) 『掛金収入』は、4億6千万円を計上。
- (3) 『資産運用収入』は、2億円を計上。

2. 支出の部

- (1) 『年金給付金』は、17億2千万円を計上。内容は、「普通年金」14億1千万円、「扶助料」3億円、その他が1千万円です。
- (2) 『年金引当資産繰入支出』は、5億7千万円を計上。

以 上